

WEEKLY NEWS 2013-2014年度 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

週報 14号

通算 2066回



例会日：水曜日
 第1・第2：18:30～(夜) 第3・第4・第5：12:30～(昼)
 例会場：ルメール華月殿 和歌山市屋形町 2-10
 事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23
 サイバーリンクス N-4ビル 2階
 TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>
 E-mail : a-rotary@coral.cypress.ne.jp
 会長：郷間博敏 幹事：奥村智子
 会報委員長：谷口 拓・副委員長：赤在依美



由良町の花《すいせん》

本日の例会
 10月23日(水)
 12:30～華月殿

ロータリング：我らの生業
 行事：クラブフォーラム
 社会奉仕委員会

次回の例会
 10月30日(水)
 12:30～華月殿

行事：外部卓話
 和歌山トライアングズ 株式会社
 代表取締役 古川 靖章様

先週例会報告

ゲスト：第2640地区 米山記念奨学委員長 谷野一彦様 副会場監督 赤在 依美

会長挨拶

郷間 博敏 会長

本日は谷野米山記念奨学委員長様お忙しい処卓話の方よろしくお願ひいたします。
 本日は台風も和歌山を通り過ぎ、余り影響はなく、唯これから関東、東北方面への被害が
 予想されます。今週、親睦旅行で東北へ行きますが、大変な事に成っていないか心配です。



幹事報告

奥村 智子 幹事

- ・福島中央 RC より 10月3日に事務所に連絡がありました。
 2012年4月に福島中央 RC へ東日本大震災義援金を持参しました(和歌山東南 RC 25万円・和歌山中 RC 25万円・サンペドロ RC 15万円)一部を使い、和歌山東南・中・サンペドロ RC (フィリピン)、他 RC と共同で浪江町に車(プリウス) 1台を贈呈するそうです。
 (避難解除準備区域に指定され、現在の二本松の仮庁舎や各地仮設住宅から元の町までの往来に、増々車両が不足していることへの支援。)車体に各クラブ名が記載されるそうです。10月8日(火)福島県浪江町で贈呈式が行われました。後日、感謝状が浪江町より届くそうです。
- ・来週の例会は6Fが会場となります。
- ・2012-13年度活動報告書、2013-14年度ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典を皆様のラック入れさせて頂いております。
- ・和歌山南 RC よりのお知らせ
 11月2日(土)14:00～、県立近代美術館において「秋の憩いコンサート」を開催いたします。当日は紀南災害復興支援のカンパ箱も用意される予定だそうです。各テーブルにパンフレットを置いております。
- ・片畑会員より「レクサス和歌山インター店にて毎月1回開催している演奏会」のCDを会員皆様に頂きました。ラックに入れさせていただきます。
- ・本日定例理事会を開催いたします。役員・理事の皆様、よろしくお願い致します。



米山記念奨学会

中曾真二郎 会計

郷間君・谷野様、本日よろしくお願ひいたします。
 奥村君・谷野様、今日の卓話よろしくお願ひします。
 地区米山奨学委員長 谷野一彦様・米山月間 卓話の機会をいただきありがとうございます。

《ロータリアンの守るべき道》

⑥ 会費の支払いその他、守るべき期日は必ず守りましょう。

ニコニコ	米山奨学金	ローリ財団	東南育英会	紀南災害義援BOX	
累計	945,076	16,000	25,000	8,000	0

出席報告	出席者	出席率
会員総数	49名	10/16 26名 60.42%
出席免除会員	3名	9/27 40名 86.96%

第2640地区米山記念奨学委員長 谷野一彦様・本日はよろしくお願ひ致します。

奥村君・稲葉さん、おめでとう。

稲葉君・おかげさまでここまで戻りました。ありがとうございました。

辻本君・東南ゴルフコンペで優勝させていただきました。

山口君・稲葉さん、復帰よかったなー。

市川君・稲葉様、お元気で何よりです！！

山田君・本日欠席ですみません。10月5日の芋のツル切りと6日の収穫祭では多くの会員の皆様にご協力頂きましてありがとうございました。

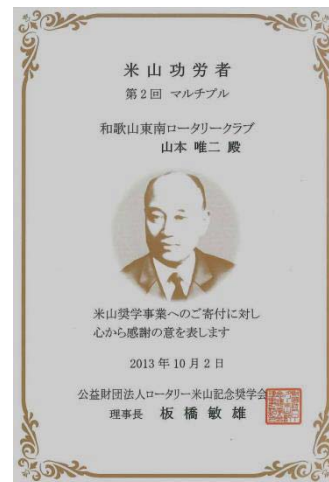
山本(真)君・ラ・グレースのゴルフ、楽しかったです。

ご結婚記念日お祝い・楠本君、坂口君、鯨君、籠田君、寺下君。

《委員会報告》

《表彰》

米山功労者
第2回 マルチプル
山本 唯二会員



クラブフォーラム 米山記念奨学会委員会 「米山月間について」 地区米山記念奨学委員会 委員長 谷野一彦様



2012年1月4日、より公益性の高い事業として認められ内閣府を主務官庁とする、「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」として移行登記が完了しました。事業内容はわかりませんが、理事の管理責任が重なることと、選考に関することに重点がおかれ、より一層の透明性と公平性がもとめられることとなりました。

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し、支援する、事業規模と採用数において日本の民間最大の奨学基金団体です。

ロータリアンとの交流を通じ、日本人の心を理解してもらい、互いに信頼関係を築き、将来、世界平和の架け橋となる優秀な人材を育成することを目的としています。

当2640地区は小委員会制（米山選考小委員会・米山学友小委員会・米山寄付増進小委員会）をとり、米山奨学生に良好な勉学環境を提供しロータリーと米山奨学事業の理念を伝え、また地区内奨学生と世話クラブ・カウンセラーへの支援、およびロータリアンと米山奨学生、学友の交流をより促進する活動をしてまいります。

さて、選考に関する件ですが、現在、奨学生の選考は指定校推薦制度をとっています。第2640地区では、地区内の資格を有する留学生在籍するすべての大学・高等専門学校を指定校とし、学校より優秀な学生を推薦して頂き、その中から選考しています。

米山奨学金制度は、将来日本と母国との懸け橋となってくれるような人材を育成することが目的ですので、奨学生の選考基準は、学業が優秀であることはもちろん、コミュニケーション能力が高く、日本の文化・習慣を学ぶ意欲があることです。奨学生に認定されてからは、ロータリーの例会への参加はもちろん奉仕活動へも積極的に参加して頂き、ロータリー精神を理解してもらおうようにしています。

わが地区では、事前に書類審査をし、日本語の理解度・ロータリーの知識度・奉仕活動の意欲度・コミュニケーション能力等を筆記試験し、最後に地区米山委員会と面接官（パストガバナー・ガバナー）による面接を実施し、それらの総合評価により選考しています。なお、選考時の一国の採用数が50%を超えないように配慮しています。

さて、2013学年度は20名の新規採用学生を迎え、4名の継続学生と共に、様々な活動を始めています。新たな制度として、サポートクラブ制度を取り入れ、田辺東RC様を主世話クラブに、有田2000RC様がサポートクラブについていただき、和歌山大学の学生をお世話いただいております。月一回の例会訪問が主世話クラブに不可能な時は、サポートクラブにてお世話をいただき、そこから、主世話クラブとサポートクラブの会員様同志も交流を図っていただき、きめの細かいご指導をいただいております。初めての試みにも関わらず、本当に順調にお世話いただいていることを、心より感謝申し上げます。また、これをきっかけに、今までお世話クラブになりえなかった遠方のクラブ様も、どうぞこの制度を取り入れていただき、次年度より、多数のクラブ様が世話クラブとなっただけの様ご検討いただくことをお願いいたします。

また、学生たちに、たくさんの招聘卓話の機会を与えていただき、ありがとうございます。学生たちも、卓話研修会等を開いたり、各世話クラブで卓話をさせて頂いたり、日々研鑽をしています。どうぞ、お世話クラブでないクラブ様にも、直に、米山記念奨学生と交流いただき、卓話の機会を与えていただけましたら、米山事業への理解促進につながる有効な手段となり得ることは言うまでもありません。今後もより多くのクラブ様より、卓話の機会を与えていただきます様、重ねてお願い申し上げます。

さて、先般より、近隣諸国との領土問題により、悪化している国際事情ではありますが、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために世界平和を願って設立された米山事業の使命、理念を鑑み、この様な状況であるからこそ、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成していくことが、ロータリーが目指す「平和と国際理解への推進」そのものであることをご理解いただきたいと存じます。

今後とも米山記念奨学事業に対し、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



「東北親睦家族旅行①」10月18日(金) ~20日(土) 参加者19名

10月18日(金)ねぶたの里(昼食)





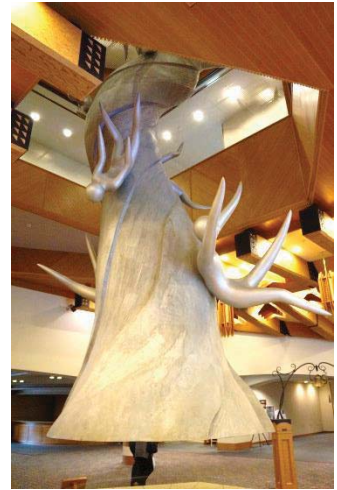
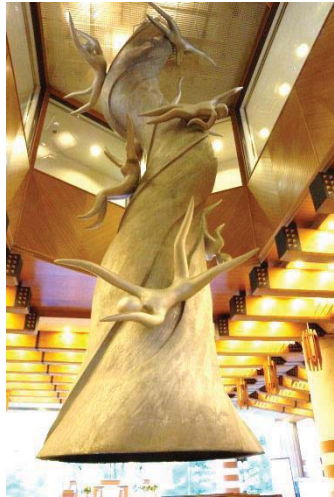
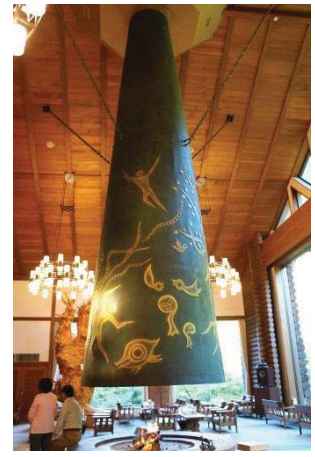
10月18日(金) 八甲田山(ロープウェイ)



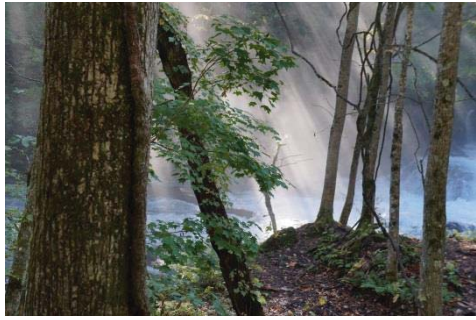


10月18日(金) 星野リゾート 奥入瀬溪流ホテル (夜 宴会)





10月19日(土) 奥入瀬溪流散策







10月19日(土) 十和田湖遊覧船

